

決意書

私は、ミニバスケットボールの指導者として、以下のことを認識し、今後とも、子どもたちの健全育成を目指した指導に努めることを決意します。

- 一、子どもの模範となるよう自らを律するとともに、指導に当たっては、暴力行為を厳に慎み、子ども一人ひとりの人格を尊重する。
- 一、熱意や努力を主観的、独善的に捉え、軽度の体罰は「愛の鞭」であるというような安易な認識を排除する。
- 一、暴力行為（体罰）は子どもたちの基本的人権を侵害するだけでなく、場合によっては刑法及び民法上の責任も問われかねない行為である。
- 一、暴力行為は、子どもの心に深い傷を残し、子どもや保護者のみならず、社会全体のスポーツ指導者・ミニバスケットボール界に対する信頼を著しく失墜させる行為でもある。
- 一、暴力行為は、子どもたちを萎縮させ、自立を阻害し、暴力容認の態度を生み出し、そのことが不登校の要因となったりいじめにつながったりする。
- 一、勝利至上主義に陥ると、熱心さが歪曲して捉えられ、暴力行為に対する、正常な判断を麻痺させてしまう。

参考資料：コピーして貼り付けないこと。自筆で作成します。

（文面は自由。規定はありません。）

